

医療的ケア「3号研修」をひろげ 充実した支援の輪を

2014年

5月24日(土)

時間・13:30～17:00

(開場 13:00)

会場・神戸あすてっぷ KOBE
(神戸市男女共同参画センター)
セミナー室1・2(会場地図は裏面)

参加費・会員 1000円・非会員 1500円

※シンポ申込時に入会されると会員扱いの参加費となります。

私たちは、重い障害がある子どもたちや成人の多様性のあるいのち、尊厳あるいのちを考え、快適な日常生活を支える気管切開、人工呼吸器、胃ろうなどの日常生活をより快適に生きるために、「医療的ケア」研修や全国シンポジウムなどを通して、前向きに支援してきました。

2012年4月から吸引・経管栄養等の一部法制化によって、介護福祉士等の非医療職が一定の研修後、「医療的ケア」の一部が「業」として実施できるようになりました。

障害児者を支援する場合、障害児者本人の病態等を十分に理解したパーソナルな関係性で、日常生活を支えることが必須です。家族、非医療職、医療職などの地域連携とともに、看護・介護ステーション、福祉施設(入所や生活介護事業所等)、病院、診療所の連携も必要です。

いま、都道府県で特定研修(3号研修)づくりが進められていますが、研修登録機関が不足し、支援中の希望研修者への実施すら不十分な地域があります。私たちは京都府の3号研修について支援してきましたが、全国どの地域でも「医療的ケア」支援に対応できるように、研修申請のノウハウや講師派遣などで支援していきたいと考えています。

今回は厚生労働省の障害福祉課で、この研修体制づくりにかかわってこられた高木憲司前専門官をお招きして、経験交流と充実した支援の輪を各地にひろげていくためにシンポジウムを行います。

3号研修を具体的にどう進めるか 各地の医療的ケア研修の現状と課題

第1部

- ① 京都の3号研修と自立支援協議会の取り組み NPO法人医療的ケアネット理事 篠原文浩
- ② 大阪で自ら(教師・保護者)立ち上げた3号研修 NPO法人 地域に広がれー医療的ケア 乾 勝彦
- ③ 研修を受ける人に補助金 千葉県障害福祉課 石井和孝
- ④ 指定発言ー研修の課題 兵庫・福岡など

◆報告を踏まえて討論

医療的ケア研修の 格差解消を求めて

第2部

3号研修立ち上げとこれからの課題

前厚生労働省 障害福祉専門官・和洋女子大学准教授 高木憲司

◆討論 コーディネーター:NPO法人医療的ケアネット理事長 杉本健郎

※シンポジウム終了後、17時10分～「NPO法人医療的ケアネット2014年度総会」を開催(17時40分終了予定)

交流会 講師・シンポジスト・参加者有志による交流会18:00～20:00=要予約

申し込みはFAXかMailで!

主催 ● NPO 法人医療的ケアネット
TEL.075-693-6604

FAX.075-693-6605

e-mail.mcnet-info@mcnet.or.jp

共催 ● 社会福祉法人 かがやき神戸・

神戸市北区地域自立支援協議会くらし部会

協賛 ● 兵庫県保険医協会・兵庫県小児科医会